

奈良女子大学大学院生活文化学専攻主催講演会

# 感染症と共生

—適応・進化・人・社会の視点から—

講師 山本太郎氏

(長崎大学熱帯医学研究所教授)

会場:奈良女子大学E261教室

日時:2012年6月29日(金) 14時40分~16時10分

ハイチ地震 2010年

東日本大震災から何を学び考えていくのか。講師のご専門である「社会と感染症」といったテーマを引用しつつ、「共生」あるいは「個の利益の最大化と集団の利益の最大化は一致するのか」といった視点からお話いただく。

共生とは、理想的適応状態なのか？あるいは決して心地よいとはいえない妥協の産物なのか？自然環境、あるいは地球環境との共生とは何を意味するのか？

<講師略歴>

JICAジンバブエ国感染症対策プロジェクト・チーフ・アドバイザー、京都大学大学院医学研究科社会健康専攻国際保健学分野助教授、ハイチ・カボジ肉腫・日和見感染症研究所上級研究員、外務省国際協力局等を経て現職  
主要著書に、『感染症と文明—共生への道』(岩波新書)、『新型インフルエンザ 世界がふるえる日』(岩波新書)等

バングラディッシュ 2009年

問い合わせ先 奈良女子大学生活環境学部生活文化学科 生活史研究室 鈴木(内線 3077)

協力 奈良女子大学大学院 GPプログラム「女性の高度な職業能力を開発する実践的教育」